

西原の方言

なめくじ考

そろそろ雨の日が多くなってきました。じめじめしてていやだなーと思いつつ、わが

県の水事情を考えるとやっぱり雨はよろこばなくちゃ。さて、雨降りに喜んでいるのは、人間だけではありませんね。

たとえばなめくじ。標準語ではなめくじといいます、西原の方言でなんとというのか知っていますか？

これまで約半数の集落の方言の調査を行ってきましたが、このなめくじ、これは集

落によって呼び方が違うんです。ちょっと面白いので取り上げてみましょう。

嘉手苜では、アンダムサーとかユダヤームサー（虫のことをムサーというんですね）。津花波でもユダヤームサーというようです。また、幸地でもユダヤームシと呼ぶとのこと。

我謝ではアドウナブヤー、安室にいくとナディナブヤーとなります。

また、棚原はハナダイムシきと呼んでいるようです。

掛保久・呉屋の呼び方はいっしょで、ナンドウルムサー。

ユダイト（よだれ）とかハナダイ（はなみず）というのは何となく分かるような気がするんですが、アドウナブヤー・ナディナブヤーっていったいぜんたい…。

みなさんのところでは何と呼んでいるのでしょうか？

現在、方言調査はまだやっ

と半分にはさしかかったところがあります。なめくじの呼び方が全集落でどう違うのかは今後の調査のお楽しみといたところでしょうか。

しかしこのなめくじたちも他地域では結核の薬として生で人間に食されていた（『沖縄民俗薬用動物誌』）といえますから、ハナダイとかユダヤーなんて呼んだらなめくじに失礼？

なめくじ

